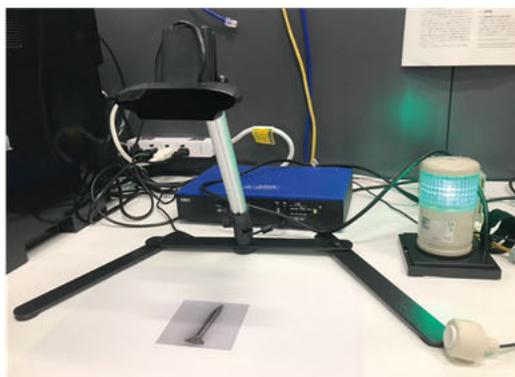


# エッジの集合知で予測能力が向上する検査装置、(株)サキヨミAIラボ

## アンサンブル学習により継続的な予測性能維持・向上を実現



現在の人工知能技術は、継続的に再学習・性能評価・学習済みモデルの再配布を実施するためエッジの設置場所が増えると運用が煩雑になる。

そこで、現場作業員により登録されたレポート情報を教師ラベルとし、再学習、性能評価(運用中モデルと再学習モデルの比較)そして学習済みモデルの再配布を自動化することで予測能力を向上・維持する。

さらに、別々の学習器として学習したものを融合させるアンサンブル学習により精度の低いモデル(弱学習器)でも高精度な判定を実現する。

バイアスとバリエーションを調整して予測精度を改善する

